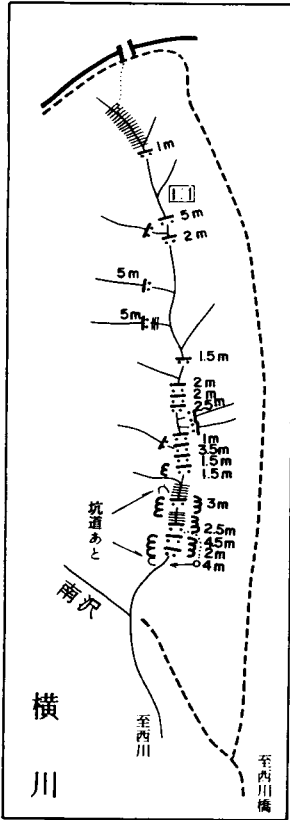


うだ。

一六時二五分、取水口に着く。沢の中を、鉄管を通して水を引いている。どこへ引いていくのかは確かめなかった。

一六時三〇分、こわれた旧一三号国道の橋の下をくぐり、一三号国道に上がる。
(記)

一三号国道(一六三三〇)
一三時、下降開始(一五二〇)↓



横川

昭和

一九八二年五月二六日

一三時、下降開始。下り始めるとすぐ水が出てきた。ナメ状となっている。次々と支沢を合わせ、小滝を越えてゆく。下ってゆくうちに、右岸に坑道跡があった。ここで何を掘っていたのだろうか。

更に小滝をいくつか越えてゆくと、

四つ目の滝にでた。両側が岸壁で、ちよっと巖しい。左岸を捲き、小沢(水無し)を伝って降りることができ、訓練と思つて、ザイルを取り出し、下降。

この四つ目の滝の右岸にも坑道跡があった。ヘッドランプを取り出し、中をのぞく。奥が深い。中に入っていると、ドロが厚く積もっている。ズボと入り込んでしまうので、すぐ引き返す。ここから南沢出合はすぐだった。

南沢出合から更に二〇分程下って、左岸の登山道めざしてヤブをくぐ。
(記)

